

外務省
事務次官
事務次官
事務次官

御
封
印

事務次官

事務次官事務次官事務次官

琉球諸島若しくは他海島に在りては即ち

常例に依りて其の航海免状を發行す

事と爲すに依りて其の航海免状を發行す

事と爲すに依りて其の航海免状を發行す

事と爲すに依りて其の航海免状を發行す

九月二十七日

外務省

外務部

外務部

外務部

外務部

環球藩之者清國其他海外亦未越其何
許可受其外當今之振合以照會
趣致必多矣是進清國之渡航既其
系組人名及談地名等因藩古勤當省官
負之而論進而改正可致見
當今之書先其價是申尤清國之
航海及多矣之無之生及及出回答也

明治九年二月廿四日

内務卿大久保利通

内務卿
大久保
利通

外務卿寺島宗則殿

二月廿四日

内務省

馬濟
騰寫濟

寫濟

外庶弟三十一号

御印

公印局

航海及多... 生及... 四...

明治九年二月廿四日

内務卿大久保利通

大久保

外務卿寺嶋宗則殿

二月廿四日

内務省

御手紙
御手紙
御手紙

神

五月三日

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

御手紙

外務省

第何號

大日本國皇帝陛下、外務大臣寺島宗則

此印章ヲ以テ琉球藩下何港人

某商用、為テ

大清國 何 地

趣クニ付故障ナク通行ヲ差許

サレ且要用ノ節ハ相當ノ扶助

保護ヲ與ヘラレシコトヲ通行

ノ國々文武諸官へ希望ス

明治何年何月何日印

大日本欽命外務大臣寺島 為

給發執照事現有琉球藩

某港人姓某名誰因焉

業前赴

大清國 何 地

合請公途各處文武員弁

見此執照准伊放行如遇

事故隨時保護幫助可也

須至執照者

外

寫濟
曆寫濟

外唐第五十号

琉球藩管下之者高用或ハ事テ故アリテ清國
其外一航海候節ハ普通之免状ハ度可
候之付右携帶シテ往來ノ達方五計高航
海取出シテ各出方有出候官負ニテ朱書ニテ
書入海方五計ト云々ハ此等ノ下ニ越候事
若免状ハ清國ニ不限西洋諸國一航海球
ニ長シ朱書ニテ携帶シ書換ルル事ト云々携帶
ハ致候事ト云々ハ此等ノ下ニ越候事
及ハ内方ノ事也

内務卿寺島宗則殿

明治五年五月廿日

内務卿寺島宗則殿

追テ以テ諸島ノ琉球藩管下ニテ免状ハ度可
及ハ内方ノ事也

明治二十九年九月九日

補綴

年号

内務省

陸海軍省

物産省

若くは

その他

外務省

内務省

陸海軍省

物産省

若くは

その他

外務省

内務省

陸海軍省

物産省

若くは

奉
行
の
旨

外務第五十号

航海免状渡方之儀有
過白少抄有之趣有之右者西洋諸州一
航海免状之旨有之右免状携帶為致美
支等之旨有之及少河合之慶儀有之
若之趣致承知之旨有之通口藩
人之儀有之少河合諸國一航海免状儀
之旨有之少河合用之旨有之其旨有之
尚可及少河合之旨有之漢文譯之旨有之
致致之旨有之少河合出之旨有之此旨
乃少河合有之旨也

明治五年六月七日

内務卿大保の通代

内務少輔 林友幸

明治五年六月七日

外務卿青島宗則殿

外務省

様上

外務省事務

此程出照會及領事官等陸續編入民法適用等航海
二部一可及海免狀等様並其出照會等々此中入

明治九年三月廿一日

外務省

外務大臣

中

進三奉文枚數ノ目一及び其同篇ノ紙所ハ出照會等々
四至其外事務等々此中入照會等々也

外務省

外... 百... 乃... 及... 西... 萬... 今... 琉... 球... 藩... 人... 民...
亂... 國... 是... 船... 海... 之... 事... 亦... 有... 後... 免... 州...
備... 之... 亦... 同... 藩... 船... 船... 出... 發... 之... 時... 有...
至... 急... 免... 狀... 以... 送... 致... 多... 之... 方... 此... 後... 亦...
乃... 以... 與... 會... 也... 也

内務大臣丞

内務大臣丞

五月二十日... 内務大臣丞

明治二十九年九月九日

麻務省

由由吉吉 外務省

環球為人民佳國、後由一古くも所色我外

書しふ中五教之其國をたかむる外務省中

口思存し我外務省中、片色我外二子り中書り中二の

百●三十四、其古古給言はる、其我外省

我外省中、其人なるれボ我外省形、其中

将細り我外省中、其中、其中、其中、其中

外務省

、其外務省中、其中、其中、其中、其中

我外省中、其中、其中、其中、其中

未、其中、其中、其中、其中

書中、其中、其中

六、其中、其中

光緒二十九年
 光緒二十九年
 光緒二十九年
 光緒二十九年
 光緒二十九年
 光緒二十九年
 光緒二十九年
 光緒二十九年
 光緒二十九年
 光緒二十九年
 光緒二十九年

程文輝
 程文輝

光緒二十九年
 光緒二十九年

陸軍省
陸軍大臣 大角 武生

陸軍省

陸軍省
陸軍大臣 大角 武生

陸軍省
陸軍大臣 大角 武生

陸軍省
陸軍大臣 大角 武生

陸軍省
陸軍大臣 大角 武生

陸軍省
陸軍大臣 大角 武生

陸軍省
陸軍大臣 大角 武生

陸軍省
陸軍大臣 大角 武生

外務省

陸軍省
陸軍大臣 大角 武生



寫濟

庶第... (Vertical text columns)
 此度海外...
 昨九年...
 印...
 相...
 之者...
 德...
 多...
 明...

外務書記官

准... (Vertical text columns)
 為...
 節...

權大書記官
 推大書記官
 內務省

海峽植民地

書翰

由海峽植民地...

環球唐人...

南洋各地...

廣東...

粵人...

海峽...

外務省

乃...

...

者流亦在也
 等為田在臨球當者出臨所人少酒之有
 之無清國船海免以改山之分年五子
 致力以改山者年五子三分七子五分五
 如業外之能能產業天今般同出臨所
 如農多者有沖繩船引繼居在業者之
 以承到者之改山前之分年五子五分五
 年より身致子五分改山者五分五業五分五
 通白多業五分五改山者五分五業五分五

明治三年正月廿日 内務卿伊藤博文

外務卿寺島宗則殿

二月十日午後三時伊勢海軍司令部
 艦隊トリヤ^{那覇}ノ艦^隊ノ名^簿ノ由^り西^洋艦^隊ノ艦^隻一^隻
 以^て警^戒ヲ^爲シ洋^人一^人我^日本^人一^名ヲ^獲ル^事有^り南^洋出^陣
 第^一外^國ノ^艦ヲ^應接^ス出^陣所^ニ於^て有^り南^洋出^陣ノ^事
 有^り出^陣所^ニ於^て我^日本^人一^名ヲ^獲ル^事有^り内^洋艦^隊
 船^隻可^致殊^ニ出^陣所^ニ於^て儀^具ヲ^備ヘ^ル事^有
 艦^隻ノ^於ル^事有^り出^陣所^ニ於^て儀^具ヲ^備ヘ^ル事^有
 衆^多也^事有^り回^艦ヲ^待テ^モ何^レモ^何レ^モ艦^隊ノ^事
 有^りテ^モ艦^隊ノ^事有^り官^古太^平艦^隊ノ^事有^り艦^隊ノ^事
 有^りテ^モ艦^隊ノ^事有^り

一日十二日凡^ル艦^隻サ^レ雨^中回^艦致^サス
 一日十三日凡^ル艦^隻雨^中午後一時普^港沖^ニ回^艦致^サス
 内務省

遠^鏡無^クシ^テ出^陣所^ニ於^て相^互ニ^艦船^ヲ見^テ方^ナラ^ズ
 尚^何レ^モ何^レモ^何レ^モ艦^隊ノ^事有^りテ^モ艦^隊ノ^事
 ナ^リテ^モ艦^隊ノ^事有^りテ^モ艦^隊ノ^事有^りテ^モ艦^隊ノ^事
 出^陣所^ニ於^て儀^具ヲ^備ヘ^ル事^有
 但^レ一^隻ノ^艦船^ノ出^陣所^ニ於^て儀^具ヲ^備ヘ^ル事^有
 裁^断シ^テ此^ノ事^有テ^モ艦^隊ノ^事有^りテ^モ艦^隊ノ^事
 ノ^事有^りテ^モ艦^隊ノ^事有^り

一 魚^雷西^洋國^軍艦^隻フ^サニ^ク号^ス
 カ^キタ^シノ^事有^りカ^キタ^シノ^事有^りカ^キタ^シノ^事有^り
 上^中士^兵等^約十^名

一いつて日本語の通に於て有る事なり其年七月の
 初日この船は東千島へ往り候に所々向
 船は少しづつ東千島船にて東京より出づ長崎
 ありし時香港へ飛船ノヨロシキ海見島ノサカ
 トリ一ノ島南地へ寄船ノサカリ敷くあり也
 方中僅く見ゆして其船敷
 何れの人ありき名は白川若々大角春三郎
 ト云フ者ニコレ長崎より備口一名ハ島史崎下
 指島宮田忠義ハ云フモノニテ島史崎ヨリハ
 島新正取（二百五十九）ニテ備口ニ米田ヨリ
 也
 都府の船より早原我より東へ来たる一男
 リアリ所取之ハツテラニテ上陸ノ神速ナルモ我ニ
 有るノ信アリ船ナリ爲患ナリ既其船ヲ分ラレ
 致ラントスレハ遅緩ノ既（小速キ事可ラズナ
 一船ノ年スレハ其ノ一ノ速キ内地信多船ノ事
 途至ラス空クハ後ヨリ其ノハツクナシ
 一日午後五時十二時在時任義南十二時四時
 有赤岩見ノ有名船中ノ又ハ後ツクナシ又其大
 一善長ニ船長ノ名ヲ招キ洋酒ニハ其ヨリ也
 ナリハ爾レ雜談ノ事御読ス
 我レ彼ノ船ニ至ルヤ前ニ云フ所ノ既船ニテ其
 爲患ナリ其船緩ナルヲ譏ヤモテハ四時及更トハ
 久レキラス又彼レニ船中ニ必ク洋酒及ニ巻煙草
 等ヲ出スルコト有ル所ノ海ノ至ル船中ニ招飲セド
 レ其待遇ナリ想爲ルニ我ニ爲条アリモ巻煙

内務省

REEL No. 1-0324

0304

字位に用意アリなる事十回おぼしめし
ハ為り十脚括方アリ

傳多船三艘を役了獲きニテモ立スレハ洋
船の勿論よしお船の船船甚なる事なり

一日日魯國ノ乗船後既及ヨリ在る船出
本部港ノ懸向ノ流船事實におかひ至急

ノ三様山直下ノ海義事付来、何れノ海
ノ為りおぼしめし

九年一月十日
内務省
中務省長官
中

一日日市中ニ於テ午肉五枚ヲ買求ム
内務省

此代價洋銀二元

一日日市午前九時士階三名水夫七八人上陸士
及出張所にて取らざる事あり交り。此等
市街に於て出張所ヨリ中におく同國軍兵十名
田中本務官は彼等場を巡り道邊にたておき
申し我ノ意事ヲ備へ日午後一時登船

一斗 一斗
代洋銀二十元

一鶏印 四百粒
代四ドル八十セト

一鶏 十八羽
代四ドル八十セト

一鹽 六斗

甲申年九月十日
一 右船艦泊早速馬入町（水主町）大島人老
人之陸橋所へ其島大島へ通詞三島并
島王子のラ子等所望申出せし者切
没する事候へば通使辨り給所望に
お尋ね申
左妻の口候りし事此の如く

中部間切
本郡間切

丁酉十月十日

真栄成龍登之親
真阿能登之親

御評定所

左の如く

内務省

一 牛 三隻

代船船口等七枚と其の如く

一 倉庫十九間并目三枚と并其
代百枚考る文 并三島子昆

一 王子四十甲

代お尋ね文 甲三島子昆

一 口ラ五束并字片為程三

代お尋ね文

一月十日



多田三郎 内務省 事務官
 崎本三郎 内務省 事務官
 磯田三郎 内務省 事務官
 磯田三郎 内務省 事務官
 磯田三郎 内務省 事務官
 磯田三郎 内務省 事務官
 磯田三郎 内務省 事務官

内務省 事務官
 磯田三郎

内務省

大英欽命駐劄日本公使
大英欽命駐劄日本公使

庶第六百廿七号

先般英國公使ハリス氏琉球へ渡航之節
同行泊村有之英國人墓碑立替之儀在琉
琉當有出張之官負之依頼有之猶追テ碑石
可差送趣之付右者曰公使ヨリ請省ニ由テ立遣之
當省ヨリ遠之有之標度旨同行出張官
員ヨリ相答置之趣之付為念此後及少通之呈
修也

明治九年一月廿九日

内務卿大久保利通

外務卿青島宗則殿

寫濟

内務省

島

無才三万七千

先般英國公使ハリス氏 琉球 渡航 事 旨 可 照

明治九年一月廿九日 内務卿大久保利通 大 久 保

外務卿青島宗則 殿

寫濟

内務省

六

孝元庚申廿五年

琉球海地那 西朝陸去依主より左取

船後より佛多由國軍艦へ陸へ船来

別紙之通し紙多由る日心得以由る

ありといふ也

明治九年三月廿日

由務大臣

外務大臣

印

暹羅と琉球は琉球如条三冊及由る

暹羅と琉球は琉球如条三冊及由る

三月廿日

外務省

急原中以下

公使館
外務省

廿五日

海地那、西朝屋去後、至より、
以佛多、由國軍、
道、一、我、官、日、心、清、以、
也

三月廿六

申務大少也

外務大少也

也

政事、は、琉球、始末、二冊、及、
一、向、之、人、を、原、より、日、
月、廿六、外務大少也

外務省

也

此、孝、一、奉、
公、行、向、
也

寫濟

膳寫濟

環球著地那霸港出張家
般般船隻ヲ以佛魯兩國軍艦
為心得山崎少尉ヲ以心也

明治九年三月廿八日 内務大臣

外務大臣

此の如き事は環球著地三冊及び
皇朝の如き事は皇朝の如き事
に急承付可也

三月廿九日 内務省

佛國軍艦タリスマコ号在廣府有る長崎へ艦内
に陸軍兵科員之品備置あり同艦は自來
高層の向村陣へ艦内より其地より商標
右広澤の向中へ懸索あり此記爲る由
指す而此函書より其意あり

至院陸

日指者七張 殿

本局無指訳

陸軍省 陸軍部

中島重光少将より其意あり此函書より
其意あり

内務省

一十二月廿六日午後三時四十分、蒸気船「級」が、
報知より、本島官船「那覇港」に到着し、泊村に碇を
沖、艦内各直に後部停泊村に碇を、本島に碇を、
一「級」船の泊村に向かう、
一「級」船の泊村に向かう、
一「級」船の泊村に向かう、
一「級」船の泊村に向かう、
一「級」船の泊村に向かう、
一「級」船の泊村に向かう、

一、同日九時、午後八時、
本島「見泊村」に碇を、
那波親雲上、
一、同日九時、午後八時、
本島「見泊村」に碇を、
那波親雲上、
一、同日九時、午後八時、
本島「見泊村」に碇を、
那波親雲上、

内務省

十時、
一、同日九時、午後八時、
本島「見泊村」に碇を、
那波親雲上、
一、同日九時、午後八時、
本島「見泊村」に碇を、
那波親雲上、

今日ヨリ四五日、
又時在青木、
又時在青木、
又時在青木、
又時在青木、
又時在青木、
又時在青木、

出張有る答フ

船長曰明日十時ヨリ出航スト云フ

時任者又曰明。出張有る本夕ラレハ泊村
上陸有ルハ此有ヨリ藩吏某等ト云フ

船長云善哉

一 通事トシテ是戦ニ直宗平親雲上神山親
雲上、更御 英語ニ通シ候位彼も英語ニ十分通セズ
橋ノ以テ日本人對語出ラ出シ大意大分斷ク和語或
ハ手真似ホミテ知レ其他雜語有ルモ十三八九ハ通セ
ズ雜語中 洋語ヲ 平午十二時泊村ニ還ル内村正福崎
九寺出仕河原田中倉出浮三ヨリ宿浦添親方領之
側長伊野波親雲上モ同所在勤官名目名別卷
ノ有ルモ伊野波親雲上ヨリ先年佛 某西船ニ乗リ來者

内務省

ノ古内野某ホラ船ニ此女ト名振テ致友多ク心
不福崎ヨリ多田ヨリ我日本版圖タル以テ私ニ船ヲ物
取ラス候令船ニ乗ルル於彼ニ決テ船管ニ對サス
事不不致スモ多ク懇切ニ設法シ伊野波親
雲上ニ見テ又船ニテ伊野波出テ向當藩ハ多禮
ノ邦ニテ先年某佛 某西船ニ乗リテ船中此
女贈ラスハ信義ヲ失フハト是非船中ニ志也又福
崎河原田ヨリ先年ハ左様ニ了スルモ今日ト
是ヨリ傳約ト我日本政府ノ傳約ト相違私ニ船
中ノ道程決テ無ク万一ト船中ニ船中ニ乗リ
此女不不致スル物アリ候事ニ志也又
勿忘舊ノ後船中ノ如ク伊野波親雲上乗ル午後
下下子以在船中名別卷ニ

一日三十。午時。八時。田名親。出辰公館用解、
ヲ案内トシテ泊村、出ス。曰十時。以。船長。マ。カサデヤ
神下。海軍中佐。佐。人カ。士官。名。曰。村。佐。人カ。神下。金モ
山。張。所。ニ。是。ト。在。ル。田。名。親。之。接。ス。

船長曰牛豚鶏肉野菜。其。ヤ。ガ。サ。テ。ヤ。有。酒。ヲ
持。リ。別。テ。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。
此。代。價。得。取。ヘ。シ。ト。常。々。云。フ。云。フ。其。時。也。
肉。ハ。明。口。ニ。テ。船。長。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
此。テ。長。久。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
中。見。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
船。長。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。

内務省

田名親。其。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
此。テ。神。船。長。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
言。語。通。シ。テ。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
休。ム。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
祖。父。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。

一日三十。午時。八時。田名親。出辰公館用解、
ヲ案内トシテ泊村、出ス。曰十時。以。船長。マ。カサデヤ
神下。海軍中佐。佐。人カ。士官。名。曰。村。佐。人カ。神下。金モ
山。張。所。ニ。是。ト。在。ル。田。名。親。之。接。ス。
船長曰牛豚鶏肉野菜。其。ヤ。ガ。サ。テ。ヤ。有。酒。ヲ
持。リ。別。テ。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。
此。代。價。得。取。ヘ。シ。ト。常。々。云。フ。云。フ。其。時。也。
肉。ハ。明。口。ニ。テ。船。長。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
此。テ。長。久。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
中。見。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
船。長。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
此。テ。神。船。長。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
言。語。通。シ。テ。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
休。ム。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
祖。父。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
其。時。也。船。長。曰。田。名。親。之。手。ニ。奉。進。セ。ル。所。也。
一日三十。午後。四時。以上。官。我。日。年。海。軍。大。尉。佐。人。カ。モ。リ。三。年。前。大。佐。也。

名山張家、高に福崎時任之、橋、大士、友、日、明、日、出
船、致、其、降、中、後、怒、切、予、預、於、者、有、視
と、予、()、出、ス

一日三、日、午、前、又、八、時、後、錫、ノ、箸、ヲ、分、兄、弟、ト、シ、テ
時、任、者、亦、同、六、時、以、船、ヲ、至、ラ、セ、ト、ス、レ、ド、一、日、
船、ヲ、前、日、所、望、品、代、價、亦、左、ノ、如、シ

洋銀計拾四兩 牛二匹 但ま之惣計也
日 於六兩 一 豚 四之 但ま之四兩 也
日 米 卅五石 也 鶏 於二羽 但ま之計也 也 也 也
金 銀 四 於 五 兩 五 於 也 也 也 也

内務省

陸奥六十七号

公信局

外務大臣

内務大臣

福島の被災者救済の件
（福島）の被災者救済の件
（福島）の被災者救済の件

明治三十三年三月

外務省



